



2022年の年頭にあたり —「Diversity=多様性」を認め合う杉並和泉学園を目指して—

学園長 田中 稔

あけましておめでとうございます。令和4年、壬寅(みずのえ・とら)の年が始まりました。本年1年が杉並和泉学園の児童・生徒は勿論、保護者、地域の方々にとりまして、幸多き一年となることを心より願っています。

さて、昨年の12月23日には、2020東京パラリンピック競技大会の競泳男子100メートルバタフライで金メダルを獲得した木村敬一選手を本学園にお招きし、全学年で講演等をいただきました。そのお話の中で語られていた「前回のリオデジャネイロ大会で金メダルを逃したことをばねとして、ひたむきに挑戦を続けてきたこと。」「夢を実現するためには、友人など人との豊かなかかわり合いが必要なこと。」は、学園の教育目標である「3つのC」のうち、「Challenge」と「Communicate」につながるものでした。また、障がいのある無にかかわらず、人が目標をもって幸せに生きていくためには、何か一つ夢中になれるものを見付けていく必要があることを熱く語られていました。

本学園は、昨年4月、開園10周年となる2025年までに、「Diversity (多様性)」を認め合う児童・生徒の集う学園を実現していくという方向性を打ち出しました。それは子供たちが大人になるこれからの時代を見据えてのことであるとともに、本学園が小学部、中学部という年齢の多様性を有していること、特別支援学級を設置しているということ、海外との交流、英語教育など国際理解教育に重点を置いたカリキュラムを進行していることなどを主な理由としています。そして、この「Diversity (多様性) の尊重」を基本に置き、中学部では生活の心得(きまり)等の見直し、男女混合名簿への変更、両学部では、特別支援学級等の学級名の変更、パラリンピック観戦やパラリンピアンによる講演会の実施等を進めてきました。これらの環境整備や特色ある教育活動等の目指すところは、互いの違いを認め合い、支え合える人、共生社会に貢献できる人を育てることです。講演後に各学級で書いた児童・生徒の感想に、それらの心が着実に育っていることを実感しました。

杉並区教育委員会が11月に発表した新しい教育ビジョンでも、「学び合い、信頼関係をつくり、共に生きること」「ちがいを認め合い、自分らしく生きること」「誰もが社会の担い手として生きること」の3つを子どもと子どもを取り巻く全ての人たちが共に尊重し、大切にしたい考えとして示されています。この考えは本学園の目指す「Diversity (多様性) の尊重」を基盤に置いた教育理念と同一線上にあります。

学園の新たな歩み・挑戦は始まったばかりです。本年も新型コロナウイルス感染症再流行への対応準備等、課題は山積しておりますが、保護者・地域の皆さんと学園が力を合わせ、「児童・生徒が主役となる学園」「Diversity (多様性) が尊重される学園」「3つのC (Communicate, Challenge, Create) にかかわる力等を育てる学園」を実現してまいりたいと思います。

小学部

- 生活目標●
健康に気をつけよう
- 安全目標●
不審者から身を守ろう

中学部

- 生活目標●
寒さに負けない体力をつけよう
- 安全目標●
新しい年の安全な生活の目標を立てよう

小中共通

- 保健目標●
冬を健康に過ごそう
- 給食目標●
冬の食事について知ろう



1月の行事予定



日	曜	予定		日	曜	予定	
		小学部	中学部			小学部	中学部
7	金	始業式 3時間授業		20	木	放課後パワーアップ教室	移動教室(8年)
8	土			21	金		移動教室終(8年)
9	日			22	土		ウインターコンサート
10	月	成人の日		23	日		
11	火	保健指導 給食始 安全指導		24	月	学年朝会 校内書き初め展始 クラブ	中学朝会
12	水	身体計測(3・4年) 4時間授業 都立推薦出願		25	火		校内書初め展始 セーフティ教室(7年)
13	木	身体計測(仲・5・6年)	移動教室前内科検診(8年)	26	水	4時間授業 華道体験(4年3組)	都立推薦検査 水曜手習い
14	金	連合展覧会(特支)始 安全指導 身体計測(1・2年)	見学(仲・A組)	27	木	避難訓練 放課後パワーアップ教室	都立推薦検査
15	土			28	金		
16	日			29	土	短縮時程 道徳授業地区公開講座 3時間授業 書き初め展保護者鑑賞日 C S会議	
17	月	給食費引落(最終) 小学朝会 委員会	生徒朝会			校内書き初め展終 学習発表会(仲) 国際理解教育(5年)	移動教室説明会(A組) 校外学習保護者説明会(7年)
18	火	連合展覧会(特支)終 折り紙教室(2年) いざみ教室3学期始	移動教室前日指導(8年)	30	日		
19	水	華道体験(4年仲・1組)	移動教室始(8年)	31	月	学年朝会 立川防災館(5年仲・2組)	校内書初め展終 都立一次出願

★小学部 小山亜衣子教諭の懐妊、産休に伴い、3学期から第2学年外国語活動を村山律子教諭、第3学年理科を徳永俊二教諭が行います。
年度の途中ですが、ご理解の程、よろしくお願ひいたします。

学校支援本部コーナー

「明けましておめでとうございます！」

生徒たちの元気な挨拶で、新しい年がスタートしました。

昨年はコロナで始まりオミクロンで終わるという残念な年ではありましたが、オリンピック・パラリンピックは感動を届けて無事に終わりました。学園の全校生も感染に注意しながら、色々な活動に楽しく真剣に取り組んでいたのが頼もしく感じました。

学校支援本部も9月から放課後子ども教室「いざみんなクラブ」で活動できるようになり、たくさんの子供たちと工作を楽しむことができました。

- ・9月 持ち手付ミニティッシュ入れ(ジュースなどの紙パック)
- ・10月 ハウス型肩掛けバッグ(色々なダンボールの箱)
- ・11月 ジッパー付き三つ折りポーチ(ビニール袋)
- ・12月 二色使いのキャンドル(ローソク) ※以上、()内は材料
子どもは延べ93人、サポーターは延べ13人が参加しました。

今年度もあと3回、みんなで楽しめるような企画を考えています。まず1月はパペット人形(ソックス)を作ります。腹話術の先生がおしゃべりも教えてくださいますので、期待してくださいね。

保護者の皆様へお願いです。工作的な材料として、使わなくなつて残っている、いろんな色の包み紙や和紙、リボン類。子ども向けのカレンダー。使われずにしまわれたままのローソク(白い物)や燃え残りのローソク(白い物)をご寄付頂けたらと思います。

今年もたくさんの笑顔と元気を目指します。

(<https://shinsen-izumi.sakura.ne.jp/>
お問い合わせ : info@shinsen-izumi.sakura.ne.jp)



矢部 由美子

学校運営協議会コーナー

学校運営協議会では毎年CS

アンケートを実施しています。

今年度も11月5日にアンケート

を全世帯に配付、約81%の世帯

から回答をいただきました。

年度末に発行するCSニュースレ

ター9号に、詳細な集計結果を

掲載しますが、今年度の回答結果について2つ、

とり急ぎお伝えします。

1つは、コミュニティスクールの認知度が一挙に20ポイント近く上昇し、初めて70%を超えたことです。もう1つは、タブレット端末をめぐる意見と要望が多く寄せられたことです。タブレットに関しては、たくさんの課題があると認識しており、学園と協議し少しでも改善を図っていきたいと考えています。

次回の学校運営協議会の定例会合は1月29日(土)11時30分に開かれます。傍聴を希望される方は、学園までご連絡ください。



職務代理
坪井 裕三

・杉並和泉学園校区 地域教育推進協議会
公式YouTube和泉あすをりなすの会

・WEBサイト <https://asuworinasu.com/>

